

(基本目標6) 人づくり、参加・協働

1. 環境・SDGs教育

SDGsとは、“Sustainable Development Goals”の略称で、「持続可能な開発目標」と翻訳されています。平成27年9月の国連サミットで採択され、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のための2030年（令和12年）までの国際目標です。17のゴールと169のターゲットから構成されており、環境・社会・経済の3つの側面を総合的に解決する考え方が強調されています。

1-1 出前授業・環境講演会など

市では地域や小学校等を対象に出前授業や環境講演会を開催しております。令和6年度は、7回実施し700名が参加しました。

令和6年度 環境授業・環境講演会実施内容

No.	日付	対象者	テーマ	参加人数
1	6月14日	武蔵野中学校1年生、特別支援学級1～2年生	「SDGsの初歩ガイダンス」	115
2	6月26日	越ヶ谷小学校5年生	「SDGsの初歩ガイダンス」	126
3	6月14日	蒲生小4年生	綾瀬川の歴史と川の環境について	150
4	10月28日	大間野小4年生	綾瀬川の歴史と川の環境について	87
5	11月23日	ヒマワリこどもエコクラブ会員	越谷を流れる河川の環境や生息する生き物について	10
6	2月13日	市民活動支援課、こしがや市民活動連合会	地球温暖化（ファシリテーター）	60
7	2月14日	千間台小6年生	「SDGsの初歩ガイダンス」、「気候変動について」	152

※上記の他、各小学校で実施している生物多様性子ども調査の授業に、環境サポーターを派遣し学習支援を行っています。

1-2 越谷生物多様性子ども調査

市内の小学校のビオトープにおいて、平成24年度から始まった越谷生物多様性子ども調査を行っています。越谷市独自の指標生物調査で、子どもたちが学校やビオトープ周辺のトンボの生息状況を調べ、活動を通して越谷市の環境の現状について知り、調査結果を元に生きものにとってやさしいまちづくりについて考えます。令和6年度の調査では越谷市内の小学校で、トンボの成虫が27種、ヤゴが20種確認されました。



1-3 児童館ヒマワリの環境学習事業

児童館ヒマワリのテーマ「生物と環境」には、子どもたちが人と自然の調和や動植物を慈しみ生命を尊重する心もち、科学する心を培っていくという願いが込められています。また、こどもエコクラブ活動の推進により、地球環境を保護するなど、環境形成者としての実践力を育成することをねらいとしています。令和6年度末現在、4クラブ525人が登録を行っています。

○主な実施事業

①ヒマワリこどもエコクラブ

米作りを通し、健康・水・生物などの関わりから環境について考え、一人ひとりの環境保全に対する意識を高めることをねらいとしています。

回	月	日	曜	内 容
①	4月	20日	土	黒米の種まき
②	5月	18日	土	弥生スペシャル 育った苗で田植えをしよう
③	8月	24日	土	施設見学会「環境科学国際センター」
④	9月	14日	土	発泡スチロールをリサイクル
⑤	10月	12日	土	弥生スペシャル 古代米の稲刈り&絵日記にまとめよう
⑥	11月	23日	土	ぼくらは水質調査隊
⑦	12月	21日	土	弥生スペシャル わらで作るお正月の輪飾り
⑧	1月	18日	土	牛乳パックのリサイクル～いろんな小物づくり～
⑨	2月	22日	土	エコなミニ水族館を作ろう

②ウッドクラフト教室

木という自然の素材独特の手触りや質感を感じながら楽しく工作することを通して、自然に親しむ心を育てることをねらいとしています。（開催日：8月12日（月））

③環境月間展示

6月の環境月間に合わせ、パネル展示を通して環境問題について考え、自分にできることなど実践しようとする態度を養うことをねらいとしています。（開催期間：6月1日（土）～6月13日（木））

2. 環境・SDG s 活動

2-1 こしがや環境サポーター

市民や団体、教育機関等における環境配慮活動等への協力、支援を進めながら地域における自然環境保全、普及啓発活動を幅広く推進していくため、越谷市では、登録制による「こしがや環境サポーター」制度を平成 27 年度から開始しました。サポーターとして登録された方は、地域や学校などの求めに応じ、環境イベントへの協力や、学校の環境学習への支援を行っています。

令和 6 年度末現在登録数：市民サポーター 27 名、学生サポーター 0 名、企業サポーター 20 社

令和 6 年度活動内容

日 時	イベント名	内容	参加者数
6 月 19 日	クビアカツヤカミキリ勉強会	クビアカツヤカミキリ対策の野外学習	3 名
7 月 3 日	コシガヤホシクサ栽培への協力	コシガヤホシクサの植替え	2 名
8 月 6 日	フジバカマ保護活動	フジバカマ自生地にて除草作業	3 名
10 月 5 日	オオオナモミ除去活動	葛西用水でのオオオナモミ駆除とキタミソウの観察	25 名
11 月 27 日	コシガヤホシクサ栽培への協力	コシガヤホシクサの種子採取	2 名
12 月 7 日	カラス集団ねぐらの個体数調査	ねぐらに集まるカラスの個体数の計測	4 名
2 月 6 日	北越谷第五公園ビオトープ管理作業	北越谷第五公園の清掃、枯れ枝の回収、枝の剪定	6 名
2 月 22 日	キタミソウ観察と河川敷清掃活動	葛西用水でのキタミソウの観察と清掃	7 名
3 月 17 日	環境サポーター交流会	年度事業報告と次年度事業計画説明	12 名
通年	越谷生物多様性子ども調査支援	トンボ調査学習支援など	延べ 53 名



オオオナモミ除去活動



環境サポーター交流会

2-2 協働事業

市では、市民団体との協働による活動も推進しています。令和6年度はNPO法人越谷ふるさとプロジェクトと共催で事業を実施しました。

(ア) 川をめぐる子ども体験バスツアー

平成28年から越谷市内を流れる川とつながる地域を訪問し、水と自然環境について体験的に学習することを目的に、市内の小学生を対象に「川をめぐる子ども体験バスツアー」をNPO法人越谷ふるさとプロジェクトと一緒に実施しています。

令和6年度は環境省や埼玉県レッドリストで「絶滅危惧種ⅠA類」に分類されている県の魚・ムサシトミヨを保護・生育している保護センターに行き、その生態と保護について学びました。また、ムサシトミヨ同様に、埼玉県レッドリスト2024で「絶滅危惧種ⅠA類」として分類されている食虫植物のムジナモが観察できるさいたま水族館にも訪問し、その生態や保全活動を学びました。

日 時：令和6年7月30日(火) 午後8時30分～午後5時

会 場：午前 熊谷市ムサシトミヨ保護センター

午後 さいたま水族館

内 容：ムサシトミヨ保護センターでのムサシトミヨ観察、講師による生態と保護の講義、およびさいたま水族館への訪問、ムジナモの生態・保全活動の学習

参加者：市内在住の4年生以上の小学生 17名



(イ) 親子ふれあい自然体験教室

令和 3 年度より「自然物を使った工作をすることで、自然の楽しみ方や自然との接し方を深める」、「親子で一緒に作業をすることで、好ましい関係を構築する」、「体験活動を通して、感受性、想像力や表現力を高める」ことを目的に親子ふれあい自然体験教室を実施しています。

○親子ふれあい自然体験教室～自然でオシャレしちゃおう～

日 時：令和 6 年 7 月 7 日(日) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

会 場：水辺のまちづくり館大会議室

内 容：アウトドアや非常時に役立つロープの使い方を学ぶ、器具によるミサンガ作り

参加者：市内在住の小学生以上の親子 7 組（計 20 名）



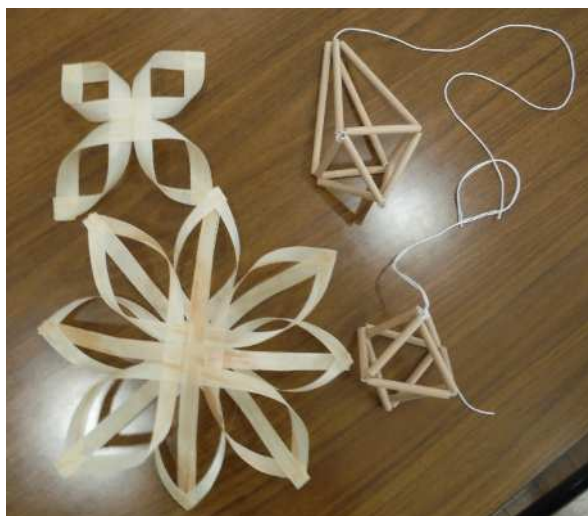
○親子ふれあい自然体験教室～クリスマスクラフトを作ろう～

日 時：令和 6 年 12 月 1 日(日) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

会 場：水辺のまちづくり館大会議室

内 容：リース 2 種類（木の枝だけの物、木の实とミズゴケをつけた物）、松ぼっくりのモビール、オーナメント（輪切り、ミニサンタ、ミニ天使、木の枝トナカイ、ゴッドアイ）の作成

参加者：市内在住の小学生以上の親子 12 組（計 28 名）



○親子ふれあい自然体験教室～ジュズ玉や木の枝でブレスレット等を作ろう～

日 時：令和 7 年 3 月 16 日(日) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

会 場：水辺のまちづくり館大会議室

内 容：ジュズ玉や木の枝などの自然物を使ってブレスレットやストラップなどの作成

参加者：市内在住の小学生以上の親子 9 組（計 23 名）



2-3 こしがやSDGsパートナー

(ア) 制度の概要

本市では、第 5 次総合振興計画及び越谷市環境管理計画において、各施策を SDGs の 17 のゴールと結び付け、連携して展開していくこととしています。

今後更に SDGs の目指す「誰一人取り残さない」持続可能な社会を実現するためには、行政のみならず、本市にかかわる企業や団体、市民一人ひとりと、共に推進していくことが必要となります。

そこで、共に手を携え SDGs の目標の達成や地域課題の解決に向けた取組を推進していくため、令和 5 年 2 月 1 日よりこしがや SDGs パートナー制度を開始しました。企業、NPO、団体、教育機関、個人、行政等が本制度を起点に連携を深め、将来にわたる持続可能なまちを次世代につないでいくため取組を行っていきます。

○こしがやSDGsパートナーの要件

①対象

- ・市内に事業所等を有し、又は市を拠点に活動している企業、団体、教育機関、特定非営利活動法人、その他の団体、又は個人事業主
- ・市内に在住し、在勤し、在学し、又は活動する個人

②応募要件

- ・SDGs の達成につながる取組をしている・する意欲があること
- ・市や他のパートナーとともに、SDGs の達成や地域課題の解決、SDGs の普及啓発に取り組む意欲があること

③パートナーになると

- ・パートナーには、登録証、こしがやSDGsパートナーオリジナルロゴマークの木製SDGsピンバッジを提供します。（企業には県産木材で作成した木製盾の登録証も発行します。）
- ・パートナーの取組を市のホームページ等でPRします。
- ・パートナー間のネットワークづくりを支援します。
- ・SDGs 関連事業等についての情報提供を行います。
- ・こしがやSDGs パートナーオリジナルロゴマークを使用できます。

※木製ピンバッジ・盾については、森林環境譲与税を活用し作成しています。

○オリジナルロゴマーク

向かい合った2羽のしらこぼとが大空に向かって飛び立つ様子を描き、SDGs に取り組み、市が飛躍していく姿を表現しています。

こしがやSDGs パートナーの登録者については、名刺やホームページなどへ掲載し活用することができます。



(イ) 活動実績

○こしがやSDGs パートナー登録者数

こしがやSDGs パートナー登録者数（令和7年3月末現在）

	登録数	内訳	内訳登録数	合計
企業・団体等	178	企業	146	202
		団体	14	
		特定非営利活動法人	2	
		個人事業主	11	
		教育機関	3	
		その他団体	2	
個人	24			

○こしがやSDGs パートナー 市ホームページ掲載用宣言書

こしがやSDGs パートナー登録者のうち、希望する場合は、「市ホームページ掲載用宣言書」を提出することができます。

提出された宣言書については、市公式ホームページへ掲載を行います。商品名などを掲載することも可能で、各活動のPRに有効に活用いただいています。

掲載数：67（令和7年3月末現在）

こしがやSDGsパートナー 市ホームページ掲載用宣言書	
企業・団体・個人名	該当するゴール
紹介・これまでの活動など	
	※左から右へ入力して関与するSDGsの活動 記載が可能な限り記入してください
所在地： 電話番号：	代表者名： TEL：

〇こしがやSDGsパートナー展 2024

こしがやSDGsパートナー登録者の活動の紹介を通して、市民へ広くSDGsについて知る機会を提供するため開催しました。

開催期間：令和6年9月9日（月）～9月13日（金）

場 所：エントランス棟1階 多目的ホール

内 容：こしがやSDGsパートナーからの「こしがやSDGsパートナー展 2024 報告書」などの展示



〇こしがやSDGsパートナー交流イベント～脱炭素社会を目指して～

パートナー間の横断的なネットワークづくりを推進するため、パートナーが一堂に会するイベントを開催しました。また、一般の方にも参加していただき、広く意見を交換するグループワークを実施しました。

日 時：令和7年2月17日（月） 午後2時～午後4時

会 場：中央市民会館 第13～15会議室

- 内 容：
1. 市によるこしがやSDGsパートナー制度の年間報告
 2. 越谷市環境管理計画に基づく越谷市の環境施策について
 3. こしがやSDGsパートナー登録者の取組内容について
 4. 基調講演「脱炭素社会を目指して～SDGsと脱炭素～」
講師：霜鳥 正隆氏（NTT東日本 埼玉南支店 支店長）
 5. グループワーク

参加者：こしがやSDGsパートナー11組12名、その他市民等5名 計17人

